



登録有形文化財に若桜鉄道を一括登録 (鳥取県 Kさん)

大賞

お宝豆知識

若桜鉄道は昭和5年に国鉄若桜線として開業して以来、約78年間地域住民と共に歩いて来ました。

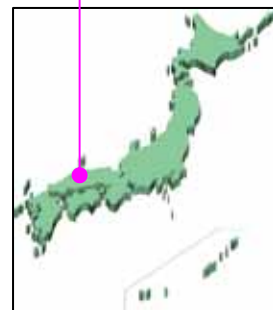
当時沿線は林業を中心とした産業が活発であり、木材の運搬を主体とした輸送により採算が取れる鉄道でありました。しかし、自動車の発達により貨物がトラック輸送へと移行し、又、輸入木材に圧迫され国内林業が衰退したことにより昭和49年には貨物輸送を廃止しました。又、国鉄の経営破たん等により廃止路線リストに挙がり懸命な乗車運動にもかかわらず廃止が決定し、昭和62年沿線市町村、県による第3セクター方式の若桜鉄道として引き継ぐこととなりました。

若桜鉄道発足後も赤字は続き、駅舎改築等の資金的余裕は無く、昭和5年開業当時の建築物が多く現存しており、若桜駅構内にはSL時代を彷彿させる「手回し転車台」「給水塔」「炭台」等が残っておりレトロな雰囲気を醸し出しております。

この度、鳥取県文化課、町教育委員会の指導協力を得て若桜鉄道全体を登録有形文化財として登録すべく申請したところ7月8日正式登録となりました。

登録されたのは駅舎、乗降場、転轍番小屋、雪覆い、落石覆い、橋梁、転車台、給水塔など23施設です。

この登録を契機に若桜鉄道の歴史的文化的価値が再認識され、来訪されるお客様が増えることを期待すると共に若桜鉄道存続に向けての大きな力となることを願っております。



日本全国鉄道お宝マップ
(鳥取県)

